

## (4) 温泉ブロック（松山市、東温市）

### ～地域の紹介～

温泉ブロック（松山市、東温市）は、県都松山市と道後平野に連なる中山間地域から島しょ部にかけて広がっており、その気候風土を活かした多彩な農作物の産地を形成しています。

特に「かんきつ」は、「いよかん」、「せとか」、「カラ」などは日本一の産地を形成し、県育成の「愛媛果試第28号（紅まどonna）」や「甘平」は市場での評価も高く生産が拡大しており、国内有数の中晩柑産地を形成しています。

野菜では、県オリジナル品種による「いちご」の産地育成や天敵利用技術の確立、アジア野菜など新たな品目を推進するなど、魅力ある産地づくりに取り組んでいます。

西日本豪雨災害によって多くのかんきつ園地が被災しましたが、関係機関が一丸となって、被災前よりも魅力あふれるかんきつ産地に生まれ変わることを目指します。

### ～産地づくり～

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たな産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組めます。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○新たな中晩柑類のトップブランド産地づくり

「宮内伊予柑」、「カラ」をはじめ、県オリジナル品種「愛媛果試第28号（紅まどonna）」、「甘平」のトップブランド産地であり、加えて、新たに「愛媛果試第48号（紅プリンセス）」の生産拡大を進めます。また、消費者から信頼されるブランド産地の維持と農家所得向上を図るため、施設化の推進や超省力化技術、コスト削減など、高品質安定生産技術の確立を推進します。西日本豪雨被災園地の早期復興を図るため、「松山地区災害復興・樹園地再編ワーキングチーム」を核に、樹園地整備や担い手への集積、産地の収益力強化を目指します。

#### ○「はだか麦」と「水稻」の高品質生産の推進

本県が日本一の生産量を誇る「はだか麦」について、県内有数の産地として、生産量を維持しながら品質向上に努めます。「水稻」では、近年の温暖化による品質低下が問題となっていることから、高温耐性品種を普及し、品質の安定した良食味米の生産を進めます。また、水田の生産性向上のため、主食用以外の米生産を推進するとともに、水利の悪い乾田では「はだか麦」への転換を図ります。

#### ○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

野菜では、「松山長なす」や「さといも」、「いちご」の県オリジナル品種「あまおとめ」や「紅い雫」のほか、アジア野菜の「パクチー」など特色ある品目の産地化を推進します。農業従事者の高齢化に対応した省力化技術や安全・安心な農産物生産のため、薬剤抵抗性の発達した害虫への天敵を利用した栽培技術の確立に努めます。花きでは、従来の切り花と枝物を中心に生産を推進します。



電柱や電線周辺も確実に薬剤散布



「甘平」の摘果講習会



「いちご」の天敵放飼



## ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○地域の農業・農村を支える多様な担い手の確保・育成

関係機関と連携して農業次世代人材投資事業等を活用しながら就農候補者の円滑な就農を支援し、就農後の個別の課題解決と営農定着を重点的に支援するとともに、集落営農組織の育成や担い手への農地の集積を図ります。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、女性農業者のネットワーク組織の充実・強化に取り組みます。

### ○農業の働き方改革の推進

農繁期の労働力確保を図るため、アルバイト等の農作業支援者や福祉事業所と農業者のマッチングを支援します。また、農作業安全の啓発や家族経営協定の推進を図り、農業の「働き方改革」を推進します。

### ○住民の連携促進による地域活性化

農業者が主体となりハンターや地域住民と集落ぐるみで鳥獣被害対策に取り組みます。また、地域資源を活用した体験交流会や農家レストランなどのグリーン・ツーリズム、6次産業化、地産地消、食育の推進により、消費者と食・農とのつながりを深め、都市と農村の交流人口の拡大に取り組むなど、地域住民が主体となった地域活性化に取り組めます。



就農候補者への技術指導



女子会の摘果講習会



集落を囲む侵入防止柵の設置

## ～農地再編整備によるブランド産地力拡大と担い手への集積・集約の加速化～

### ○樹園地の再編整備の推進

島しょ部から沿岸地域にかけては、県オリジナル品種の「愛媛果試第28号(紅まどんな)」や「甘平」の生産拡大を進め、中晩柑のトップブランド産地として更なる発展を目指すため、スマート農業やハウス施設等の導入に向けた、樹園地の再編整備や基幹水利施設の更新により、優良品種への転換を推進するとともに、担い手への優良農地の集約や新規就農者の参入を支援します。

### ○水田の再編整備と基幹水利施設やため池の改修整備の推進

平野部では、「はだか麦」産地の拡大と「水稻」の高品質生産、「松山長なす」や県オリジナル品種「あまおとめ」「紅い雫」の産地化を進めるとともに、農地中間管理機構を介した担い手への集積・集約化を支援するため、水田の再編整備と基幹水利施設やため池の改修整備を推進し、農作業の省力化及び効率化、農業用水の安定確保を進めます。



由良地区の樹園地再編

## ～温泉ブロックのかんきつ～

ゼリーのようなとろける食感が特徴の「愛媛果試第28号(紅まどんな)」と、シャキシャキした食感に濃厚な甘みが持ち味の「甘平」は本県が育成したオリジナルかんきつ。

温泉地区が県内最大の産地で、市場や消費者からも高い評価を得ており、贈答品としても大人気。

この二つの品種を両親として生まれた、かんきつ界のホープ「愛媛果試第48号(紅プリンセス)」も数年後には皆さんの食卓にデビューの予定です。



愛媛果試第28号(紅まどんな) 甘平

ほくたちの  
おすすめです!



松山市 しまぼう  
「島に来てね」



東温市 いのとん  
「野菜もどうぞ」

## (5) 伊予ブロック（伊予市、松前町、砥部町）

### ～地域の紹介～

伊予ブロック（伊予市、松前町、砥部町）は、本県のほぼ中央に位置し、水田中心の平野部から、果樹や高原野菜の栽培が盛んな中山間部、果樹専作の沿岸部など、地形や気候を活かした特色ある農業が営まれています。

水田地域は、県内唯一の採種ほ場を有し、高品質な「水稻」「はだか麦」の安定供給を担っているほか、「レタス」、「なす」、「そらまめ」、「えだまめ」などの栽培が盛んです。

中山間地域と沿岸地域では、「温室みかん」、「愛媛果試第 28 号（紅まどんな）」、「甘平」等かんきつ類を中心に果樹栽培が盛んで、中でも「キウイフルーツ」は、県内最大級の産地となっています。

また、「中山栗」や「唐川びわ」、「七折小梅」など有名な地域ブランド産品も多く、個性豊かな産地を形成しています。



「はだか麦」

### ～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド産品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○収益性の高い水田経営の推進

県内で唯一、「水稻」と「はだか麦」の採種ほ場に指定されています。県下の水田経営の基となる優良種子の生産と安定供給に努めるとともに、新品種導入による売れる米作りや「はだか麦」の加工品開発などに取り組み、収益性の高い水田経営を目指します。

#### ○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

「愛媛果試第 28 号（紅まどんな）」や「甘平」、「キウイフルーツ」等果樹の主力品目について、新技術や高品質安定生産技術の普及を図り、産地拡大とブランド力の向上を目指します。

#### ○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

地域の利便性を活かした多様な販売チャンネルを活用して「レタス」、「えだまめ」、「そらまめ」等の水田野菜のほか、「夏秋トマト」、「ほうれんそう」、「自然薯」、「花き」等の栽培を振興し、農家所得の安定と向上を目指します。

#### ○地域を代表するブランド産品の産地維持・振興

「中山栗」、「七折小梅」、「唐川びわ」など産地名の付いたブランド産品があり、地域が誇る産地を将来にわたり維持できるよう生産者の確保や管理技術の向上、鳥獣被害対策の実践を支援します。



「紅まどんな」



「七折小梅」

### ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。



## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

関係機関と連携しながら、情報提供や就農相談活動を行い、新規就農者をはじめ他産業従事者や中高年齢の就農希望者等の掘り起こしに努めるとともに、新規就農者に対して、各種就農支援事業や研修制度を活用し技術向上や定着を支援します。

また、農福連携や企業参入を推進し、多様な人材が農業に参画できる仕組みを構築します。

### ○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

引き続き、集落営農組織や農業生産法人の育成に努め、農業機械の共同利用や農作業の受委託によって、地域の優良農地を保全するとともに、新品種や省力化技術、収益性の高い作物の導入により、持続可能な水田経営を目指します。「伊予地区集落営農組織等連絡協議会」の活動を活かして各組織の連携や情報交換を図り、地域リーダーの育成を進めます。

### ○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

女性農業者の感性や能力を活用して農産物に付加価値を付ける起業活動や地域に根差した食文化の保存・伝承を推進します。また、「あいネットワーク」、「葉れるや」等の組織活動を支援し、夢が語れる仲間づくりと経営管理能力に優れたリーダーを育成します。

### ○地域資源を活用した消費者との交流活動の推進

地域の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムを推進するため、農作業体験や民泊、観光農園等の交流イベントの企画や体験メニューの充実を図り、交流人口の増加と農村の活性化を図ります。また、子どもたちや地域住民に地元の魅力を発信し、新しい地域コミュニティの創生を目指します。



新規就農者研修会



集落営農の活動連携



女性の経営管理講座

## ～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

### ○水田地帯の農業用水の安定確保

平野部の水田地帯では「水稻」に「レタス」「なす」等の野菜類を組み合わせた安定的な生産を進めるため、基幹水利施設の更新及び農業用ため池の改修等を実施し、農業用水の安定確保に努めます。

### ○樹園地の再編整備

中山間地域では「愛媛果試第28号（紅まどonna）」「甘平」などの産地を拡大し、競争力を高めるとともに、意欲ある担い手への農地集積や新規就農者の定着を支えるため、スマート農業やハウス施設等の導入を踏まえた樹園地の再編整備により、農作業の省力化、効率化を進めます。



大谷池

## ～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止を図るため、飼養衛生管理基準の遵守の徹底に努め、HACCP や GAP などの管理手法を取り入れた生産体制の確立を進めます。

また、堆肥の循環など地域環境に配慮した畜産業に取り組む経営体の育成に努めます。



HACCP 検討会議



### ～伊予市が誇る秋の味覚「中山栗」～

伊予市中山町は水はけがよく、昼夜の温暖差があり、栗栽培には適した地域です。

そこで丹精込めて栽培される中山栗は、大粒で濃厚な甘みがあり、県の「愛」あるブランド産品”や「ますます、いよし。ブランド」にも認定されています。



## (6) 久万高原ブロック (久万高原町)

### ～地域の紹介～

久万高原ブロック (久万高原町) は、西日本最高峰石鎚山のふもとに位置し、標高 400～800 メートルの準高冷地であり、面積は約 584 平方キロメートルと県内最大を誇ります。

主な産業は農業と林業で、「四国の軽井沢」とも呼ばれる夏季冷涼な気候を活かし、農産物では「夏秋トマト (中四国 1 位)」や「夏秋ピーマン (県下 1 位)」や「水稲 (一等米比率県下 1 位)」が盛んに栽培されています。

「水稲」は、JA 出荷の全農家が県特別栽培農産物「エコえひめ」に取り組んでおり、「久万高原清流米」としてブランド化されています。そのほか、畑野川地区の観光農園 (りんご、ぶどう、なしなど) や「だいこん」、美川・面河地区の「茶」など、特色のある農業が営まれています。

また、町内の道の駅の集客力が高いことから、農産物直売所に出荷する農産物や加工品開発に取り組む農家も増えています。このほか農林漁家民宿や体験交流施設も増えつつあり、来町者の増加による地域活性化を目指しています。



久万高原清流米

### ～産地づくり～

生産者の高齢化が著しく進行するなか、夏季冷涼な気候を活かした夏秋野菜における新たな栽培者の確保・育成や生産技術の向上による産地振興を図ります。

また、単収の低い農家の要因分析とその課題解決に向けた対策の推進や技術指導強化等を行うことで、安定した生産量を確保するとともに、生産者の高齢化に対応できる省力化技術の導入や、労働力の確保対策を講じながら、産地の規模拡大を図ります。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○若手栽培者を核としたトマト産地の復活

新規就農者を中心に栽培者を確保し、単収が低い要因を究明し、その対策を講じるとともに、さらなる生産性向上のための技術マニュアルを作成・普及することによって、産地の復活を目指します。

また、久万高原トマトのブランド力強化を図るため、産地の認知度向上など情報発信に取り組めます。

#### ○ピーマン栽培における省力化の推進と産地の規模拡大

「夏秋ピーマン」の新規栽培農家に対し、労力に見合った栽培面積の提案と基本技術の徹底を図ることで単収アップを目指します。また、既存農家には自動かん水施設等の省力化技術の導入と品質向上、労働力確保対策 (農福連携等) を推進し、規模拡大を図ります。



若手トマト栽培農家



ピーマン栽培農家

### ～地域づくり～

就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。若い新規就農者には、青年農業者組織での活動を通して地域内外での仲間づくりを支援するとともに、スムーズな地域への就農と定着に努めます。

また、規模拡大を目指す農家等に対し、スマート農業等省力栽培技術の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化等を通じて農地の集積を図り、地域の担い手として育成します。

中山間地域の夏季冷涼な気象条件を活かした夏秋期の出荷品目や土地利用型作物 (加工用野菜、雑穀、さといも等) の拡大・活用等による農業所得の向上と地域の活性化を図ります。

営農に関する情報共有システムを構築し、映像によるリアルタイムな情報交換と現場の課題解決を図るため、高速情報通信網の活用を含めたスマート農業の導入を推進します。



## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○地域農業を支える新規就農者の確保・育成

町内外からの多様な就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。

また、就農後も関係機関が一体となり安定生産技術や経営技術の向上を支援します。若い新規就農者には、青年農業者組織への加入を推進し、集団活動を通して仲間づくりを支援するとともに、栽培技術等の情報交換を図り、地域への定着を推進します。

### ○担い手型水田農業の推進

「水稻」の経営規模拡大農家に対し、ドローン防除やラジコン型草刈機等の省力技術（スマート農業）の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化を通じて、担い手への農地集積を図り、地域の担い手を育成します。

### ○農家の6次産業化の推進

かつては、「だいこん」、「キャベツ」、「はくさい」等の一大産地でしたが、高齢化による労働力不足や特定病害虫の増大等により生産面積が激減しました。

そこで、消費者の嗜好の変化や他産地の規模縮小等により需要が増加している品目として、夏季冷涼な気象条件を活かした加工用野菜の作付を推進します。

また、地域に伝承された加工技術等を活用した加工品の開発・販売拡大の支援に取り組みます。



新規就農者対象の講習会



ドローン防除



加工品開発

## ～基盤整備による担い手へ農地集積の加速化と果菜類の産地規模拡大～

### ○農業用水の安定確保と担い手への農地集積

高齢化や人口減少による担い手不足と荒廃農地の発生を食い止めるため、農業用水の安定確保と農作業の省力化や効率化につながる農業水利施設の更新、用水路のパイプライン化、暗渠排水の設置等を実施し、担い手への農地集積や新規就農者の定着と「トマト」や「ピーマン」等の夏秋期果菜類の産地規模拡大と出荷品目の増強を後押しします。



野地横通の水路改修

## ～足腰の強い畜産業を振興します～

○四国カルスト牧場の活用による和牛繁殖管理の省力化を進め、経営体質の強化を図ります。

○久万高原育ち「媛っこ地鶏」は、トマト給与等による特色ある鶏肉生産をより一層推進し、産地形成を後押しします。

○高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止を図るため、飼養衛生管理基準の遵守の徹底を図ります。



四国カルスト牧場の放牧風景

### ～久万高原町の夏秋ピーマン～

久万高原町の「夏秋ピーマン」は、昼夜の温度差を活かした肉厚で果色の緑が濃いのが特徴です。

また、ピーマン栽培農家は、エコファーマーの認定を受け、化学肥料や農薬の低減技術を導入・実践しており、環境にやさしく、信頼される産地づくりに取り組んでいます。



みきゃんと久万高原町イメージキャラクター「ゆりぼう」